

令和7年度（令和6年度分） 指定管理者評価表【基本事項】

1. 指定管理施設及び指定管理者概要

施設名称		東善寺やすらぎの里			所管課	観光振興課	
所在地		周南市大字小松原1706-1					
設置年月日		平成8年6月5日				☎ 22-8372	
設置目的		地域住民の福祉の向上、コミュニティの推進及び都市と農村の交流を図る。					
施設概要		・やすらぎ館（752.94㎡）・・・入浴温泉施設 洋風浴室（大浴場）、和風浴室（大浴場、石風呂）、特殊浴室（①軽度） ・田舎の店（30.00㎡）　・ふれあい広場					
指定管理者	名称	株式会社樹					
	代表者	代表取締役 桐原 豊樹					
	所在地	福岡県北九州市小倉北区西港町10番6号					
	連絡先	電話	093-583-8275		E-mail	sumi@itsuki-inc.com	
		ホームページアドレス		https://itsuki-inc.com/			
指定期間		令和4年4月1日　～　令和10年3月31日				年数	6　年間
募集方法		公募			料金制度	利用料金	
指定管理の主な業務		周南市東善寺やすらぎの里の設置及び管理に関する条例の管理業務の範囲の規定に基づく。 (1)施設（設備及び物品を含む）の管理運営に関する業務 (2)施設の利用に関する業務 (3)施設の利用に係る料金（利用料金）の収受に関する業務 (4)施設の利用料金の減額及び免除に関する業務					

2. 施設の運営状況

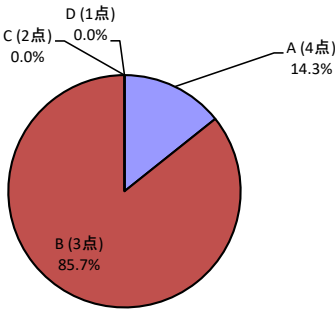
目標管理		目標指標名		年 度	R 6 年度	R 7 年度
		①	入浴者数（人）	目標値	27,450	27,700
				実績値	27,531	—
		②		目標値		
実績値				—		
指定管理業務 に係る収支状況		項目		収支計画額（円）		実績額（円）
		収 入	指定管理料	12,339,000		11,221,734
			利用料金収入	15,550,000		15,353,953
			その他の収入	0		0
			計	27,889,000		26,575,687
		支 出	人件費	12,400,000		14,691,659
			物件費	17,016,000		17,253,107
			委託料	0		326,700
			その他	0		4,088
			計	29,416,000		32,275,554
		参 考	使用料収入	0		0
			自主事業収入	2,400,000		3,156,540
			自主事業経費	0		0

令和7年度（令和6年度分） 指定管理者評価表【評価】

施 設 名		東善寺やすらぎの里		
指定管理者名		株式会社樹		
評価項目		評価事項・不適切事項等	評価	
目標の達成状況		イベント出店やＳＮＳ等を通じた施設情報の発信、県域イベントへの参加協力等により、設定した入浴者数を達成した。	A	
体制・人事		緊急時に備えて適切な人員配置を行っている。人事面では、地元採用に積極的に取り組んでおり、地域経済の発展と雇用の安定化に寄与している。	B	
業務の運営		利用者の満足度向上を最優先事項とし、施設を清潔かつ明るく見せ、利用者が訪れやすい環境づくりに取り組まれている。その他、イベント参加等を通じた地域との連携強化や、自主事業である物品販売の充実など、施設の魅力向上に努められている。	B	
施設の維持管理（衛生・美観）		レジオネラ属菌の検出があったものの、即時、衛生管理マニュアルの改訂や清掃の徹底を図ることで解決している。基準を満たす塩素錠剤の投入や、休館日における施設全体の清掃等、適切に維持管理が行われている。	B	
施設の維持管理（点検・修繕等）		老朽化に伴う故障や不具合について、市や事業者と連携しながら迅速に対応することで、施設運営への影響を最小限に留めている。また、今後考えられる故障等に備えた提案も行っている。	B	
緊急時の対応		緊急時に備えた体制づくりを心掛けており、急病人が発生した際には救急搬送の通報を迅速に行うなど、適切な対応がとられている。また、報告書も適宜作成し速やかに報告を行っている。	B	
サービス向上 自主事業		物品販売では、本市の特産品や飲食事業のノウハウを活かした独自の品揃えによって施設の魅力向上を図っている。また、買い物弱者対策を視野に入れた取組として、生活必需品の取扱いを拡充するなど地域に根差した事業を展開している。	A	
ＰＲ・情報提供		複数のＳＮＳを活用しながら施設の紹介や日々の出来事などを発信することで、幅広い年齢層へのＰＲに努めている。また、地域行事への出店機会も多く、対面での情報発信にも積極的に取組まれている。	B	
苦情(要望・意見)への対応		真摯に対応し、本社と連携を取りながら解決に向けて行動している。	B	
情報共有		適切に情報共有が行われ、市と意思疎通を図りながら管理運営にあたっている。	B	
利用者満足度調査		館内のレイアウトや自主事業の販売品拡充など、利用者の指摘や要望にいち早く対応することで、市外から訪れる利用者も多くある。	B	
収支状況		最低賃金の改正等に伴う人件費や光熱水費等の上昇により、収支は赤字となったが、サービス向上に向けた様々な工夫や、新たな顧客層の獲得に向けた企画、市内外及びＳＮＳでのＰＲ効果等の経営努力によって売上自体は前年度を上回るなど、利用者は増えつつあり、収支の改善が見込める。	B	
経理事務の状況		適切に経理事務が処理されている。	B	
コンプライアンス		各種法令に基づいた業務を行っている。	B	
利用者の声に耳を傾け、施設内の魅力向上に努めた結果、目標指標の入浴者数を達成した。加えて、近隣住民の雇用、地域イベントへの積極参加、コミュニティへの協力等、地域に対する貢献度の高さは特に評価できる点である。			総 合 評	B
一方で、人件費や光熱費といった支出が膨らんでおり、収支改善に向けては、新たなターゲットへのアプローチやニーズの掘り起こしなど更なる取組が求められる。			平 均 点	3.1

※4点満点

評価結果の割合



※端数処理のため、評価結果(A～D)の割合の合計が100%にならない場合があります。

項目別評価結果

